

廃炉安全監視協議会(3/7開催)での会議中議論についての回答

議論の内容	回答
<p>1 ○柴崎委員 本日の資料に、地下水の深さについて記載した図があります。これはシミュレーションにより作成したものだと思いますが、どれくらい確からしいのですか。この付近は地下水位の調査が進んでいませんが、観測孔の数は3つで良いですか。H4エリアの漏えい事象の際に設置したEシリーズの地下水観測孔は10箇所以上観測孔がありますが。</p> <p>●東京電力 図面の確からしさについては、調べて回答します。また、地下水観測孔は最初は3箇所として、今後必要に応じて、数を増やしたいと思います。</p>	<p>地下水シミュレーションは、年間を通じての平均的な降雨量を、地中への浸透率を考慮して入力し、算定しているものであり、降雨による一時的な上昇を除いた3～5月の地下水位と、概ね整合していることを確認している。なお、この解析については、汚染水処理対策委員会でも審議され、了解されている。</p> <p>観測孔の配置については、漏えい範囲および漏えい箇所からの地下水の流れや既設観測孔の存在を考慮して3箇所設定したものであるが、今後必要に応じて追加することも検討していきたい。</p>
<p>2 ○柴崎委員 今回設置するウェルポイントについては、深さ5mで良いのでしょうか。このウェルポイントは段丘堆積層、富岡層のどちらから吸い上げることになるのかは把握しているのでしょうか。</p> <p>●東京電力 把握していないので、調べてまた回答します。</p>	<p>H-6エリアでのウェルポイントの深さは、地下水位やH-4エリアでのくみ上げ実績を踏まえ、7mとする計画である。富岡層（中粒砂岩層）は、造成前の地表面下10m程度で出現することを確認していることから、当該ウェルポイントでくみ上げる地下水は、概ね段丘堆積層内の地下水であると想定している。</p>
<p>3 ●東京電力 そういった意味では、堰の二重化を進めて改善をして行きたいと思えます。また、敷地境界の南側タンクは、傾斜をつけて、敷地外に出ないようにする対策をしております。この件については、立地町などにも説明をしております。</p> <p>○柴崎委員 そういったことを説明する資料は協議会の場にも出して、しっかりと説明をするべきだと思うのですが。</p>	<p>昨年6月にタンクエリア造成前における県・町への事前説明において、万が一タンクからの漏えいが発生した場合に敷地外への流出防止の対策として添付資料にて説明している。</p> <p>【添付資料】 「敷地南側エリアにおける調査結果」</p>
<p>4 ○岡嶋委員 冷却が止まった場合、除染装置のスラッジの温度は何度くらいまで上がるのか。厳しい評価をするべきとを感じる。</p> <p>●東京電力 スラッジの温度については、10日間くらいは止まっても温度上昇の影響は少ないです。以前、点検により5日間止まったときは5度の上昇であり特に問題はありません。</p> <p>○岡嶋委員 トラブルがあった場合でも大丈夫と言えるか。本件は県議会でも指摘されており、県民も心配をしている。</p> <p>●東京電力 廃棄物の管理については、改善の検討を進めたいと思えます。</p>	<p>現状の冷却は、主に貯槽周囲からの放熱、排気によるものとなる。排気装置は、構内電源が喪失してもバックアップできる電源を準備している。</p> <p>高温（250℃以上）になると有害なガス（シアン系ガス）を生じるとの文献もあり、温度監視を実施している。50℃以上になった場合、警報を発生し、監視を強化し、その後、必要に応じて、給水等による冷却を行うこととしている。これまでの実績では、温度は35℃を常に下回り、低下傾向が確認されている。</p> <p>シアンガスの放出の有無を念のため確認するように準備中。</p>
<p>5 ○事務局（水野） リスク管理について、昨年のネズミ停電の後に実施した信頼性向上のための緊急対策本部によるリスクの洗い出しの際に、今回の一連のトラブルはリスクとして洗い出されたものだったのか。それとも洗い出されなかったリスクだったか。</p> <p>●東京電力 確認して回答します。</p>	<p>ネズミ停電後に実施した信頼度向上緊急対策本部の活動としては、現場を隈無くウォークダウンして、設備の弱点を洗い出した。また、埋もれたリスクを抽出するため、ブレーンストーミングを実施しリスクの洗い出しを行っている。</p> <p>ブレーンストーミングによるリスクの洗い出しで以下のような同類のリスクが洗い出されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タンク水位計の指示不良などにより、オーバーフローする可能性がある</li> <li>・道路脇の高圧電源盤に大型重機が衝突し、冷却設備系が電源停止に至る</li> </ul>